

学習内容報告書 フォーマット

学校名	海陽町立宍喰小学校
授業者	尾崎啓明

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

大好き宍喰プロジェクト

1-2. 学年

6年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

- (1) オリエンテーション（活動計画の立案）
- (2) 「宍喰の実態調べ」  
…これまでの宍喰における体験活動や調べ学習をもとに、宍喰についてまとめる。
- (3) 「宍喰の人の思い」  
…地域の人々に「未来に宍喰について」の考えをインタビューし、メッセージ動画にまとめる。
- (4) 「宍喰の未来構想」  
…調べ学習や聞き取りをもとに、宍喰の「町おこしプラン」を考える。
- (5) 地域内外への成果発表（校内学習発表会・町おこしプラン配信など）
- (6) 活動の振り返り

【活動計画】

大好き 宍喰プロジェクト

① 宍喰の未来を考える活動計画を立てよう。

○ 宍喰の未来は？

課題 人口減少 → 地域経済の縮小 → 地域の消滅

2020年 2443人	限界集落化	小学生
2040年 1123人	後継者不足	40年後-6人?
2060年 436人	少子高齢化	高齢化率
		70%以上

② 宍喰の町おこしプランを考えよう。

- ① 地域の人へインタビューをする。  
「宍喰の未来がどんな町になって欲しいか。」+ 宍喰の現状や未来への思い
- ② 他地域の町おこしを調べる。
- ③ 「町おこしプラン」を考えて発信する。  
→ 「ありがとうの集い」の発表  
→ インターネット配信





1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童は、これまでに生活科や総合的な学習の時間を通じて、宍喰での体験活動や調べ学習を重ねてきた。地域への愛着を深め、宍喰の魅力や地域の人々の温かさ、思いを実感してきている。そこで、6年生では、ふるさと宍喰の魅力や課題に気づき、地域の未来を考える「町おこしプラン」を提案する。その中で、地域の豊かな自然・文化を生かした体験活動や地域を支える人々との交流を通して、地域への愛着を一層深めるとともに、地域を担う一員としての自覚をもち、自分にできることを考え実行する態度や能力を育みたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 調べ方を工夫し、見通しをもちながら計画的に情報を集める。
- (2) 地域の魅力や実態を見つめて自ら課題を設定し、事象を比較したり関連づけたりして考え、相手に分かりやすい表現方法でまとめたり伝えたりする。
- (3) 学びをもとに、地域のために自分にできることや将来の生き方を考え、実践しようとしている。

1-7. 単元の展開（全35時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「宍喰の魅力と課題」をテーマに、気づきや疑問から「学びングマップ」にまとめて、学習課題を設定する。</li> </ul>	<p>【教師の指導】</p> <p>「ウェビング」の手引きで領域や観点を提示して、意見を引き出す。</p> <p>…これまでの体験や学習をもとに、宍喰の町おこしプランを考えるという学習課題へと導く。</p> <p>…学習計画を話し合いの中で整理し、単元の見通しや学習意欲をもたせる。</p>
10	<p>【宍喰の実態調べ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験や調査活動を通して、地域活性化への取り組みや現状について調べる。</li> </ul> <p>【海の施肥活動】      【シーカヤック】</p>   <p>【アオリイカの生態】      【文化財巡り】</p>   <p>○他地域の現状調べ（修学旅行・インターネット）</p>	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前指導でめあてを意識し活動に取り組ませる。</li> <li>・振り返りの視点を示し、問題などに気づかせる。</li> <li>・各班の課題に応じた資料や活動例を助言する。</li> <li>・タブレット端末を活用して調べ学習をさせる。</li> <li>・自分の地域と比べながら調べるように促す。</li> </ul> <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸少年自然の家職員…スノーケリング体験</li> <li>・マリンジャム職員…シーカヤック・シュノーケリング</li> <li>・中島茂範氏(牟岐少年自然の家海洋環境学習アドバイザー) …アオリイカの解剖・イカ墨絵体験</li> <li>・宍喰漁協・海陽町産業観光課職員</li> <li>・海陽町教育委員会+地域のゲストティーチャー …宍喰地区の文化財巡り</li> </ul> <p>【主な評価】</p> <p>思考・判断・表現</p>

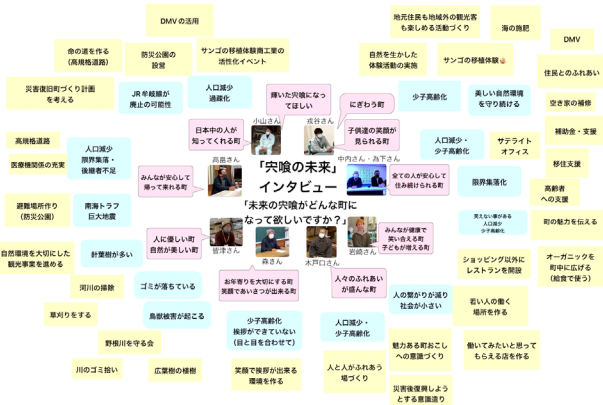
**【穴喰の人の思い】**

・地域住民の思いを聞き取り、メッセージ動画にまとめる。

○地域住民へのインタビュー

- ・農林水産業・観光業従事者
- ・町職員や町議会議員
- ・これまでの活動でお世話になった方々 など

10



→オンラインボードにまとめた聞き取りシート

**【教師の指導】**

- ・「今の穴喰の現状をどう捉えているか」「どんな町になって欲しいか」などについて聞き取る。
- ・調査や体験で出た疑問を、地域住民に質問させる。
- ・相手先との調整や連絡の準備をする。
- ・人々の取り組みに対する思いを聞き取らせる。
- ・タブレット端末を活用し、撮影・編集させる。



**【主な評価】**

思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

**【穴喰の未来構想】**

・調べたことや聞き取りをいかし、ふるさと穴喰の「町おこしプラン」を考える。

- ①「町おこしプラン」作成
- ②「プレゼン発表資料」作成

6

**【教師の指導】**

- ・調べて気付いた穴喰の魅力や課題を考慮したり、聞き取った地域住民の思いを反映させたりする。
- ・実態に応じた、具体的なプランを考えさせる。

**【主な評価】**

知識・技能 主体的に学習に取り組む態度

**【成果発表・学習のまとめ】**

・これまでの学習をまとめて、地域内外に学習の成果（プレゼンテーション）を発表する。

- ①校内学習発表会
- ②オンライン配信

6



・これまでの学習を振り返り、今後の活動や地域との関わり方について考えを深めてまとめる。

**【教師の指導】**

- ・他教科の学習をいかし、伝え方を確認させる。
- ・作り方の手引きやモデルとなる例を提示し、作成の見通しをもたせる。
- ・より伝わりやすい発表の方法を指導・助言する。



**【主な評価】**

思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

**【教師の指導】**

- ・単元初めと比較させたり振り返りの観点を示したりして、学びを自覚させる。

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 3 5 時間中の 8 ~ 1 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- 海の施肥活動を通じて、ふるさとの自然の現状や自然環境の保全活動の意義に気づく。
- 地域の自然を守り生かしている方々の思いに触れ、地域住民として自分たちにできることを考える。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 これまでの学習活動の振り返りから、本時の学習のめあてをもち、体験活動や聞き取り調査の計画を確認する。</p> <p>2 体験活動やインタビュー調査をする。 <b>（本時）「海の施肥活動」</b></p> <p>①活動内容や注意点の説明を聞いて確認する。</p> <p>②海の施肥活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肥料袋の準備</li> <li>・船舶より海への肥料の投げ込み</li> </ul>	<p>○単元のめあてやこれまでの学習の流れを押さえ、本時の学習のめあてや見通しをもたせる。</p> <p>○自分なりに活動の見通しをもたせたり、職員の方に質問させたりできるように関わる。</p> <p>○昨年度からの活動を想起させ、活動や思いの繋がりを意識付ける。</p>
<p>③宍喰漁協員の方にインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宍喰の海の現状や課題</li> <li>・海の施肥活動の意図</li> <li>・未来の宍喰への思い                      など</li> </ul>	<p>○事前に相手先との調整や連絡の準備をする。</p> <p>○調査や体験で出た疑問を質問するよう準備させる。</p> <p>○人々の取り組みに対する思いを聞き取らせる。 <span style="float: right;">知識・技能（観察）</span></p>
<p>3 活動の振り返りをして、感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や職員の方と感想を伝え合う。</li> <li>・活動の振り返りを文章にまとめる。</li> </ul>	<p>○手引きを用意したり視点を確認したりするなかで、振り返りを支援する。 <span style="float: right;">思考・判断・表現（観察・ワークシート）</span></p>



### 3. 今回の活動の自己評価

- ・活動を通じて、子ども自身が、地域で生きる、地域を担う当事者として、計画したり話し合ったりして学習を進めることができた。
- ・地域の方々と交流するなかで、宍喰の直面する課題について当事者意識をもって考えるきっかけとなり、宍喰を守り続けていきたいという思いを受け取り、自分自身の考え方や生き方を深めることに繋がった。
- ・地域の方々も、次世代を担う子供と「宍喰の現状や未来」を考える機会を好意的に受け止めており、地域が一体となって今後も継続していく価値のある活動となった。
- ・体験活動の際に、体験の目的意識や事前・事後の活動を充実させることで、有意義な活動となった。
- ・昨年度の宍喰小学校6年生の「宍喰プロジェクト」が、今年度の宍喰中学校の総合学習に継続している。「宍喰プロジェクト」の意義が子供達に価値付いた結果であり、今年度の取り組みも来年度に繋がることを期待している。やはり、地域を教材にした教育活動においては、系統的・継続的に実践されていくことが効果的である。

### 4. 今後の課題

- ・「社会に開かれた教育課程」の実施のためにも、今後は学校と地域が一体となって学習を進める組織づくりやシステム化が必須である。その結果、地域の自然や社会の持続可能な発展に繋がっていくだろう。
- ・体験活動に携わってくださる関係者の方々についてのリスト（地域学習人材リスト）を作成しておくことで、年度や担任が替わっても学習活動をスムーズに始められる。特に、地元教員の減少が予想される本校のような学校には必要不可欠である。
- ・こうした小学校6年間の活動（3～6年生の総合的な学習の時間）が、同一地区の宍喰中学校の学習活動に継続・発展されていくように、小中の連携や共通理解を深めていくことが重要である。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし